

令和7年度 気仙沼市唐桑小学校
特別の教育課程「海と生きる探究活動」実施状況及び学校関係評価

1 「海と生きる探究活動」実施状況

単位:時間

学年	計画時数	実施時数	備考
3	45	45	総合25＋教科20
4	45	45	総合25＋教科20
5	55	55	総合35＋教科20
6	55	55	総合35＋教科20

2 「海と生きる探究活動」学校関係者評価

※アンケートの数値は、肯定的な評価(とても当てはまる・当てはまる)の割合(%)を示す。

【学校教育に関する保護者アンケートから】(令和8年2月実施)

項目	評価
夢や目標の実現のために努力する児童の育成	83.2
地域に対して誇りを持ち、未来に生きる人材育成につながる教育活動推進	88.7
活動の内容や児童の様子などの情報公開	78.7
児童の様子や頑張りについての情報発信	85.3

「海と生きる探究活動」に関する児童アンケートから (令和8年2月実施)

項目	評価
主体的に活動に取り組もうとする態度	97
課題を自分事として捉えようとする心情	97
地域の人々との交流や体験活動への意欲	88
既習事項を生かして活動に取り組もうとする態度	99
学習を基に、自ら実践しようとする態度	96

3 考察

○保護者アンケートでは「海と生きる探究活動」への取組に対して保護者の評価は概ね肯定的である。

○児童アンケートでは、いずれの項目も肯定的な評価である。「海と生きる探究活動」に慣れ、意欲的に取り組んでいることがこの結果からも分かる。

○保護者アンケートにおいて情報公開の項目が8割に達していなかったことから、学校便りや、ホームページ、懇談やPTAの話し合いの場でさらなる情報発信に努めたい。

○「海と生きる探究活動」の学習において、地域活動支援員や地域の資源を活用すること等で、児童が様々な人々とつながりや地域資源の魅力を発見し、解決方法、探究方法を活用していけるよう指導・支援を工夫する。

○指導する教員が、他教科と「海と生きる探究活動」との関連をしっかりと押さえ、計画的に指導していく必要がある。